

『たたかわざる者：ヘンリー・ソローとR.H.ブライズ』初演感想集

Collected Comments on Noh: *Men Who Would Not Fight—Henry Thoreau and R.H. Blyth—Premiere*

表題新作能の公演後、学会員その他多くの方から大変貴重なご感想をいただきました。お断りしてない方もありますが、掲載お許しくださいませよう。なお、長めのご感想ご批評は、別に単独に掲載させていただきます。（編集）

本日は素晴らしいお能の世界に浸る事が出来とても感激を致しました。先生の作品はいつも斬新で古典の能である中に新しい風がふいているように感じ、何か不思議な世界感を感じます。平和を愛する心や、生命への尊敬の心、宗方先生の祈りが、能やブライズ先生の言葉を通して伝わってきたように感じました。言葉の一つ一つに重みがあり、言葉の奥にある意味を解くのは、私にはまだ難しく感じました。もう一度台本を読み返そうと思います。津村先生のブライズ先生と羽衣の天女の謡、舞分けがとても素晴らしかったです。私は能の足運びを見るのが好きなので、間近で拝見出来たので良かったです。本日は本当にありがとうございました。

青木加実（舞踊家）

宗片先生の新作能が素晴らしく、良い機会を頂きありがとうございました。中盤の「さて死とは・・・」というブライズ先生の霊の台詞が一番印象に残りました。

青柳倫生（東京都）

興味深く鑑賞いたしました。配られた解説に詳細に説明されているので、舞台の上で演じられていることは理解できました。ソローの「森の生活」を能に作られた意図については、開幕前の宗片先生のご説明でわかったような気がしたのですが、「森の生活」の思想が素晴らしく、今の時代にも、とても大切なことだと言っても、それを広く人々につたえる手段として、ハードルが高いと言われている能の形式をとるのが不思議な気がいたします。以前、書物「森の生活」を数回チャレンジしたことがあります。よく理解できず、途中で放り出しました。今回は事前に「ソロー『森の生活』を漫画で読む」という本を見つけて準備しました。手抜きです。新作能とはどういうものか、どのように作られていくか、杉澤さんから頂いたメールで勉強になりました。世阿弥の時代を映したものだけでなく、21世紀の人の暮らしが、シンプルな能の構造を使って数百年後の時代に伝えられていくのは楽しい気がします。

秋山好

『たたかわざる者』観能させていただきました。慌ただしい日帰りでの上京であったため、ご挨拶もできず、大変申し訳ございません。ここ数年、高校の教育現場で人生をすり減ら

し、本当に久しぶりに能を観ることが叶いました。本当にありがとうございました。拝見した後、日々の自分自身の狭量な身の処し方を深く省み、自らの器の小ささを思い知らされた気がいたしました。終演後は、気後れしたこともあり、独りでは、ご挨拶に伺う勇気もありませんでした。平成の後の世に向かい、再度、力を蓄えて新しいことに挑戦して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。 **石田雅章（大阪市）**

「たたかわざる者」上演、好評裡に終えられた由、真におめでとうございました。又ご苦勞様でございました。娘、長女美園も友達と観賞でき、何か充実した日になったようです。どうもありがとうございました。私の方も天皇ご退位を前に、「ブライズ先生、ありがとう」を読む機会が得られ、これまた感謝しきりです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

梅内千秋（青森市）

新作能は初めて拝見いたしました。どんな衣装にされるのかと興味津々でしたが、分かりやすい衣装、それに内容も分かりやすく、大変興味深く拝見いたしました。さぞ、ご準備されるのが大変だったのではないのでしょうか。 **蛸名なほ子（東京都）**

先日のお能には大変感激をいたしました。ブライス先生のたくさんの資料を整理させていただいて、私も先生の授業を受けてみたかったとつくづく思っておりました。宗片先生のおかげで、ブライス先生にやっとお目にかかれたように感じました。ブライス先生の英語の詩の朗読はきっとお能のように荘厳で美しいものだったのではないかと想像いたします。本当に特別なひとときをありがとうございました。史料館の引越しが落ち着きましたら、少しずつブライス先生の資料の整理を再開いたします。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

大川基子（学習院大学史料館）

昨日は素晴らしいお能を拝見することが出来ました。宗片先生の想いが込められていて、幽玄の世界に引き込まれていきました。 **小倉規布佳（東京都）**

「人生に意味あるは、その苦闘が絶望的なるときのみ」という言葉がとても強く印象に残りました。理想論を声高に叫ぶ人はたくさんいるけれど、「絶望的な状況になった時、その理想を貫ける人は本当に少ないと思います。「絶望的な状況で自らの理想（正義）を貫く事が出来るかどうかで、その人の価値が決まる」、そんな事が頭に浮かび、ブライス先生の言葉に重なりました。「ドイツはイギリスの敵であっても、ドイツ人は私の敵ではない」、戦時下において国家に背く行為、言動は死を意味します。まさに、自らの命をかけて若きブライス先生が自らの正義を貫かれた姿には心が動かされました。宗片先生の作品についてお話を伺い、また資料を読ませていただくたびに、「能というものは古典という形式で存在するものだ」と思って来た自分の概

念が変わってきました。もっと、自由な発想のもとで作られる作品もあるのだなあと・・・」
能に対する知識はないのですがそんな風に感じました。 **亀山 恵（静岡市在住）**

地謡について、可能な限り、先生のご希望を叶えてゆきたいと思います。ブライズ先生の人格が舞台に浮かび上がるのは、ワクワクします。そう思いながら任されてお役を懸命に勤めますのでよろしくお願ひ申し上げます。先生おめでとうございます。ブライズ先生もお喜びと思います。(稽古中の言葉) **加藤眞悟（地頭）**

この度は、貴重な記事（『能楽タイムズ』インタビュー）を拝読させていただき、ありがとうございました。先生の学生時代が想像されます。素晴らしい師と巡り合い、生涯にわたって慕える先生は、師の幸福な弟子と言えるでしょう。ずいぶん昔にソローが生まれたコンコードに行ったことがあります。彼の思想は現代にこそ振り返る価値があるのではないかと思います。 **川地美子（英文学者、文学博士）**

先日は素敵なお能を観せていただきありがとうございました。ブライズ先生という素晴らしい人格者がいらした事も知らず、又、お能の知識もなく、今回の公演は私にとって初めての感動でした。ありがとうございました。 **河村和子（神奈川県）**

ブライズ先生の哲学を新作能で演ずるといふ未曾有な発想が、どんな風に我々に伝わってくるのかと少し構えた気持ちでいました。学生、大学教授との前場の内容の展開が興味深く、ブライズ先生の重い存在感がご退位される今上天皇のご様子に重なって見えて来ました。これほど偉大で日本を愛したイギリス人の教えを、もっと多くの人達に浸透させるべきではないかと思いました。後場、ブライズ先生の霊が舞台に現れた時、まるで自分がその場で対面している様な錯覚に陥るほど、引き込まれていく感じでした。まさに先生の魂が能舞台に戻って来たのです。そして、こちらに人間の在り方を語りかける、「人生に意味あるは。その苦闘が絶望的になるときのみと。」何か言いようのない靈感が自分を襲ってくるのが分かりました。これまで観た新作能とは違い、いつまでも自分にこだわりを抱かせ、考えさせられる感動的なものでした。また、学会事務局の一員として公演まで準備に携わりましたが、宗片先生の原作は言うまでもなく、演者の方々が一体となった意欲的な取り組みは本当に素晴らしかったです。心に残る経験をさせていただきました。ありがとうございました。 **木下恵美子（熱海市）**

この度は子ども達と銀座に出掛けられて、思い出になる 1 日でした。短い感想を送らせていただきます。中学生の次男は、台詞が聞き取りやすくてよかったし、羽衣はお囃子のリズムが心地よかったと喜んでました。短大生の長女は初めての能鑑賞で、ちょっと難しくて眠くなってしまいましたが、お能の雰囲気は味わえたようでした。大学生の長男は、台詞が現代語で、シナリオもあったので、内容がよくわかってとてもよかったと満足してました。羽衣のシナリオもあればよかったと。内容は何処まで理解できたかわかりませんが、ブライズ先生の遺された思いが、この新作能を通して、言霊によって世界に広がる雛型になっていることと思います。貴重な時間をありがとうございました。どうぞお元気で、ますますのご活躍をお祈りしております。 **神奈川県在住、女性**

宗片さん 新作能、台本とプログラム、ご惠贈まことに有難うございます。Blyth's ghost dances は目に鮮やかに見えてきます。私 ギックリ腰で、苦闘中でゆっくり拝読できません。元気になってから、ゆっくり味読させていただきます。国際的新作能の完成まことにお目出とうございます。郡山 直 宗片さん、貴方の新作能ご公演ご成功おめでとうございます。私は暮に痛めたギックリ腰で不自由致しておりますが、そのうち良くなることでしょうか。上演ご成功、重ねておめでとうございます。郡山 直 宗片さん、能楽タイムズの記事、深い感動に打たれながら読み終えました。ソローの思想、ブライズ先生の思想を基本にして、現代能を創作なさった宗片さんの創造力は実に素晴らしいものです。新作の完成、その受容、おめでとうございます。益々多くの観客、読書人に知られてゆくことを念願いたしております。人類が核兵器を手に入ってしまった現代において、「戦わざる者」ほど偉大な者はありません。私の反戦論を詠った短歌がありますので添付します。

本年は人生最後の年と思ひ俺は叫ぶぞ「平和守れ」と
嘘ついて嘘隠すため嘘をつき今の日本は見えていられない
あれ程の被害与えた原発をまだ続けたい愚かな政府
月眺め故郷偲んで前線で餓死した日本の兵隊たちよ
戦争はしてはならない最悪のもの生命財産すべて失う
戦争を経験してきた戦中派「戦争するな」と俺は叫ぶぞ

郡山 直(東洋大学名誉教授、日英語詩人)

私事でございますが、母は俳句が好きで、長いこと野村登四郎先生につき、先生が亡くなられてからは森田旅舟先生、高井利男先生について勉強しております。昨年 97 歳で俳句集を上梓し、宗片先生がこのたびのお能をおひらきになられたように、規模は比べ物になりませんが、母と私の一つの夢が叶い、人生の区切りでもございました。

その俳句と松尾芭蕉、そしてお能が結びついた学会、そちらを束ねられる宗片先生は素晴らしいと思います。また新作能 たたかわざる者 なんともいえない余韻が心に満ち、幸せな

気持ちになりました。金春流の前家元の金春信高師が昔、新作能 佐渡 をお作りになられ、感動いたしました。今回も能が終わった後の余韻は最高でした。本当にありがとうございました。 小林由美 (栃木県佐野市)

インタビュー記事読ませて頂きました。ブライズ先生の理念を、能をどうして見る側の人々にどのように伝えようとしているかがとても明快に分かりました。

”人を一人殺せば殺人罪、大勢殺せば英雄” 本当に理解しがたい矛盾です。特に日本人はこの問題を真剣に考えなければならない時期に来ているのではと思います。反戦、非暴力、生命尊重の意識の無さは先生がとても危惧されていましたが私も同感です。新作能「戦わざる者」は満を持しての上演のように思われます。

”愛とは助ける事” ”ユーモア無しでは生きられない事” のメッセージが多くの方に届くことを願っております。「人生はその苦闘が絶望的な時のみ意味がある」深く心に響きました。本当に有難うございました。 佐藤真弓 新作能大変な好評で大成功ですね。おめでとうございます。ボブさんも素晴らしいと大絶賛していました。ご挨拶しようかと思ったけれど先生を大勢の方が取り巻いていたので失礼いたしましたとの事です。それで一言先生にお礼を申し上げたいとの事、メールアドレスを彼に教えてもよろしいでしょうか？宜しく願い申し上げます。 佐藤真弓 (山形県山辺町)

第一次世界大戦時、徴兵を忌避し、自らの良心に従われたブライズ先生の思想と行動を新作能として、宗片邦義氏と津村禮次郎氏が作能された野心作を見せていただいた。第二次世界大戦後、鈴木大拙等の推薦で学習院大学に迎えられ、都内の多くの大学で英文学を講じられ、皇太子(現天皇)の家庭教師もつとめられた。先生は芭蕉とバッハを尊敬され、禅と俳句を世界に広められた。そのブライズ先生の生き方を能として、世に問うた作品である。津村氏の素晴らしい能表現と共に、ブライズ先生の「たたかわざる者」の考え方に深く感動させられたひと時であった。とくに、人生に意味あるは、その苦闘が絶望的な時にこそあり、という言葉は、能最後の仕舞に込められ、強い衝撃と感動を感じた。ヘンリー・ソローは研究第一人者であった。ブライズ先生の面目一如の考え方の表現として、長く記憶に残ることと思う。

杉岡 勇 (東京都)

新作能にチャレンジなされた津村禮次郎氏の「たたかわざる者」すばらしいと思いました。古典の能でない現代のストーリーを能で表現するのは、更に難しいと思います。津村氏はそれにチャレンジなされ、能の新しいジャンルを開かれました。久しぶりに能を観て感動いたしました。霊気が漂うような空気の中での仕舞に、心打たれるものでした。

杉岡 由子 (東京都)

この度は、先生の能「たたかわざる者」にお招きにあずかりありがとうございました。私もですが、娘の華も、祖父であります生前のブライズ先生とは面識がありませんので、能を通して祖父のことを知ることができる貴重な機会をいただきました。ブライズ先生をどのように能につくりあげるのだろうか、と興味をもっていました。当時の皇太子殿下のこと、それにヘンリー・ソロー、禅、俳句、鈴木大拙、芭蕉等々、先生を象徴する方々や事柄を見事に登場、あるいは表現されていらっしゃるのを感じました。

(お問い合わせの件) 私は出版関係の仕事をしております。以前は、翻訳出版の仲介をしていましたが、今は、編集企画のプロダクションをしております。主に、作りました本は、河出書房新社から出版しています。色々なジャンルの本を作っていますが、翻訳ものでは、ボストン美術館から翻訳出版権を買って「北斎漫画 肉筆未刊行版」を出しました。出版関連の仕事なものですから、去年から天皇陛下の退位にあわせて、ブライズ先生のエッセイ集を企画しまして、原稿整理を始めたのですが、日常業務があり、滞っています。ブライズ先生の「エッセイ集」の企画を、河出書房、世界文化社には出したのですが、断られました。ですが、展望社という、小さな出版社ですが、少数数ならということで、出していたただけるので、なんとか実現したいとは思ってはいるのですが。また、ご相談させてください。

この度は、ありがとうございました。機会がございましたら、演者の皆さまにもよろしくお伝えくださいませ。重ねて御礼申し上げます。

武田雄二 (ブライズ先生次女ナナさんのご夫君)

何とか勤めあげることが出来てほっとしています。稽古後半からセリフが意外に自然に入ってきて来て、制作は大変でしたが、本日はあまり苦勞なく演じられました。皆様に喜んで頂き何よりと存じます。 **津村禮次郎 (作能・シテ)**

この度は、ブライズ先生の、平和への思いがこめられた素晴らしい新作にお招きいただき、心より御礼申しあげます。能という日常とはかけ離れた幽玄の世界で表現されたブライズ先生からのメッセージを、彼岸の日に体験し、印象深いひと時でございました。宗片先生におかれましては、益々のご活躍と、そしてくれぐれもお身大切になさってくださいませよう。 **富田ゆり (学習院大学史料館)**

素晴らしい能を拝見した思いです。珠玉のごとき文句には、私の理解を超えたものも多く、的確な感想にはならないと思いますが、後に感想を書かせていただきたいと思います。今週は別件に追われていますので、週末にお送りできればと思います。なお、文句の解説を『コンコード・ソーンタラー』(二〇一八年号)にてされた由なので、それを探しましたが、見当たりませんでした。解説をお願いしたいと思います。取り急ぎ御礼まで

日江井榮二郎 (東京大学名誉教授、ISHCC顧問)

先日は新作能ご公演おめでとうございました。今も余韻が残っております。感想など拙いながらもブログで書かせていただきました。

「宗片先生の恩師は、禅と俳句を海外に広め、天皇陛下が皇太子のころ19年家庭教師を務められた**R.H. ブライズ氏**。ブライズ氏が愛し研究した**ヘンリー・ソロー**にも触れ、そして、謡の中にもある「宇宙と大自然」がこの空間に広がるような規模の大きいお能でした……」

「たたかわざる」こと、平和についてや、今、天皇陛下が代わろうとしているこのタイミングに、陛下やブライズ氏の想いを、宗片先生の想いと重ねられ静かにそして深く語っておられるように感じました……」「絶望の中の希望、禅、敬愛の念、宇宙、平和、調和。様々な言葉や、要素が含まれています……」「お友達も「たたかわざる、平和をこうゆう形で表現しているってすごいねえ。静かな中にも凜とした強い信念を感じられた」と言うようなことを言っていました。……「各国大使の方やアーティスト、そしてブライズ氏のお孫さんなど身内の方もいらっしやいました。そして、長女の方から先生に宛てたお手紙も一部紹介して下さいました。「父が喜んでいることだと思います」というような内容でした。私も鑑賞しながら、つくづくそれを思いました。……」

<https://ameblo.jp/haruth2007/entry-12449466696.html>

岡山の僧侶で鈴木大拙氏を研究していた方がいたのでお声かけましたが、今回3月末に日蓮上人生誕800年祭の大祭で役を務めることになり、本当はご公演伺いたかったのにとっても残念がっておりました。宜しくお伝え下さいとの事でした。 **平井明余（山梨県昭和町）**

大変価値ある作品を拝見でき感銘を受けました。今、様々な思いが去来しております。

貴著書『ブライズ先生、ありがとう』を、早速、拝読いたしました。少しでもお役に立ちたく存じます。私の友人、句友に、多くの方々に、貴著書をご紹介します、今の日本の平和の原点とブライズ先生の功績を理解してもらいたいと思います。

津村先生の『トーマス ベケット』のイギリス公演には、私は、ご一緒致しました。微力ながら、拝 **平野 哲（東京都）**

「現代」を能楽にどのようにあてはめるのか、興味がありましたが、今回のようなテーマを扱った詞章も違和感がなくて感心しました。宗片先生の、練りに練られた言葉の玉手箱のようでしたね。装束も工夫があって、山高帽はなるほど、と思いました。シテの面がとても上品で素敵だったし、あの髪型は、むしろ今風。黒く染めずに自然なグレイヘアで、好感が持てました。橋掛かりの上、一の松前に途中出された作り物（門）も効果的で、これぞ余計なものをそぎ落としている能舞台だと思いました。

津村先生の舞が、大胆で見応えがあり、金色の中啓が映えていました。詞章とともに、舞を堪能した番組でもありました。お囃子もごく自然に入っていましたし、地謡が4人で、いつもの半分と思いましたが、囃子の後ろの位置だったせいとか、とても良く揃っていて却って詞章のはっきり聴き取れました。 **福田みどり（川崎市）**

私にとってお能を鑑賞することは初めてでございましたので判りにくい部分もございましたが、祖母がお謡をしておりましたので懐かしい響きに大変心地よく感じました。

私達俳人にとってなじみのあるブライスを取り上げられた今回の講演はまさに新しい風だと思えます。様々なことを学んだ能楽堂での時間でもございました。お能と俳句の共通点、余白の美や無駄をそぎ落とした簡潔さを感じる事が出来ました。

能という様式を借りて、ブライスと思ってもいなかった人との出会いの面白さが宗片さまの意図されたことでしょうか？ブライスに学ばれた方ならではの真摯な思いに敬意を表するものです。ブライスの生涯を宗片先生のご著書で拝読して彼は静かにたたかっていたのではとも思いました。お能という未知の世界と俳句との繋がりをご教示くださったことに心から感謝申し上げます。

藤本 はな (国際俳句交流協会 Haiku International Association
俳句ユネスコ登録推進協議会 Haiku UNESCO Promotion Council)

初めまして、ボブと申します。山形の佐藤真弓さんにチケットを頂いて、24日に能舞台を見に行きました。とても良いお席で能舞台を堪能させていただきました。挨拶できなくて、大変失礼しました。現代のストーリーや外国人関係の作品でしたので、どうなるか、いつもの能のテーマと違って、とても興味深かったです。個人的な印象もありました。私も20代の時、兵役に行かないようにベルギー政府に手紙を書きました。その時には、ロシアが敵でした。人に命令されて、人を殺すことは全くできないですという手紙でした。少しだけ Blyth さんのような手紙でしたが、その時代は刑務所にいらなかったです。感動する内容で大変興味深い時間を過ごさせていただいて、本当にありがとうございました。

ボブ(bob leenaers) (red たんぽぽ プロデューサー)

今日は、新作能の公演日ですね!! あらゆることがスムーズにいくと良いですね。成功を祈っております。素敵な日となりますように🍀 Please take care...Love, MY in UK

昨日はたたかわざる者の本番、大変お疲れ様でした。ご観劇後のおお客様の中には、「感動しました」とおっしゃる方やご友人にとプログラムを数部お持ちになる方もいらっしゃいました。限られた期間の中でのご創作、ご準備は大変だったかと思えます。私も貴重な経験をさせていただきましたことに感謝申し上げます。 村松香里 (スタッフ)

先日はありがとうございました。今まで先生に教えていただいて来た事が全て集約された作品だと感じました。学生が先生自身だと言うところが親しみがあり説得力があります。ひょっとして現実の話では無いだろうかと錯覚してしまう夢幻能の醍醐味を感じました。また近々お会い出来るのを楽しみにしております。 安田 保 (伊東市)

I'd so glad you're pleased with the issue. It's a remarkable play, a real event in the Concord Saunterer's publication. I wish I could be with you for the premiere in Japan, but I'm afraid it won't be possible. If my travels take me to Japan in the future, I will be certain to look you up. It's been a pleasure working with you. Yours, **John**

I'm delighted to hear the performance was such a success - I can only imagine from reading the play what it was like to hear and see it spoken and sung. It must have been moving indeed. The translation in the *Saunterer* will be available on the JSTOR database next year. Congratulations! **John J. Kucich, Ph. D. Editor, *The Concord Saunterer***
アメリカ・ソロー協会『コンコード・ソーンタラー』編集長

Dear Mr. Munakata,

Again, thank you very much for this great performance.

It was inspiring to experience the blend of century-old tradition and a modern story – even mentioning bicycles and trains – in your play. I wish you and your society every success in further fostering the exchange between western and Japanese culture.

Kind regards,

Daniel Ockenfeld (German Embassy ドイツ大使館)

We wish you a very good Luck for tomorrow. Friendly.

Anne-Marie et Jean Claude Saint Marc in France

Dear Munakata sensei,

Thank you so much for the invitation to the play. It was the first live experience of Noh theatre for my husband and our daughters, and we enjoyed it very much. The performance was deeply involving, with the exquisite movements of the actors and music that switched between being spellbinding and to involving rhythmical beats. The modern setting of the first play was also unique and interesting, and connected the modern world with the ancient Japanese history. We will look for more opportunities to see Noh plays in the future. Best regards, **Hiromi Johansson (Swedish Embassy スウェーデン大使館)**